

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2020
MARCH

No. 113

Sat. 21st March
Tokyo Opera City Series

No. 678

Sat. 28th March
Subscription Concert

No. 118

Sun. 29th March
Niigata Subscription Concert

3



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶 ユベール・スダーン
正指揮者	飯森範親
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆ 上田 仁 ◆ 遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

コンサートマスター	グレブ・ニキティン 水谷 晃
アシスタント・ コンサートマスター	田尻 順 廣岡克隆

会 長	横川 端
理事長	澤田秀雄
副理事長	平澤 創 依田 巽
専務理事	大野順二
理 事	阿部武彦 池辺晋一郎 伊藤美樹 大橋 博 岡崎哲也 庄司 薫 永山 治 夏野 剛 南部靖之 福川伸次 藤原 洋 増岡聡一郎
監 事	磯村文靖 寺西基之
評議員長	金山茂人
最高顧問	
評議員	梅沢一彦 鴛海量明 片山泰輔 加藤英輔 西村 朗 星 久人 松木康夫 山添 茂 横川 寛

特別顧問	飯島延浩 草壁悟朗◇ 福田紀彦
------	-----------------------

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 小川敦子
- 加藤幸子
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 森岡ゆりあ
- 吉川万理
- 大和田ルース

2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 坂井みどり
- 加藤まな
- 福留史紘
- 阿部真弓
- 河裾あずさ
- 塩谷しずか
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 渡辺裕子

Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西広興 ●
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 松崎里絵

Cellos

- 伊藤文嗣
- 川井真由美
- 謝名元 民
- 蟹江慶行
- 樋口泰世
- 福岡茉莉子 *

Double Basses

- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡澄淳子
- 笠原勝二

Flutes

- 相澤政宏
- 八木瑛子 *

Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

Oboes

- 荒 給理子
- 荒木奏美
- 篠崎 隆

Oboe & English horn
最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

Bassoons

- 福井 蔵
- 福士マリ子
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- 上間善之
- 大野雄太
- 吉野雄太
- ジョナサン・ハミル
- 阪本正彦
- 加藤智浩 *

Trumpets

- 佐藤友紀
- 澤田真人
- 野沢岳史 ●
- 松山 萌

Trombones

- 馬塚心輔
- 大島直人
- 住川佳祐

Bass Trombone
藤井良太

Tuba
○渡辺 功

Timpani & Percussions

- 清水 太
- 新澤義美
- 武山芳史
- 綱川淳美

Harp
○景山梨乃

Librarian
★武田英昭

Stage Managers
山本 聡
西岡理佐 *

楽団員
井伊 準 ◆

楽団長
大野順二

編成局長
藤原 真

パネェル・マネージャー
大和田浩明

楽団委員

- 相澤政宏 (議長)
- 大野雄太 (書記)
- 清水泰明
- 清水 太
- 鈴木浩司
- 藤井良太

事務室長
辻 敏

事務局

- 伊藤瑛海
- 尾木貴雄
- 梶川純子
- 桐原美砂
- 佐藤雄巳
- 高瀬 緑
- 竹内裕子
- 長久保宏太郎
- 廣中憲士
- 美濃部 敦
- 山田道子

クラシックスペース★100
甲田幹雄

名誉団友
深江泰輔 ◆ 三木晴雄

団 友

- 天野裕和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 肇
- 石川晴依也
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 上原未莉
- 内田彬雄
- 内田乃利子
- 宇部 美
- 梅田 学
- 西佐智子
- 西脇秀治
- 野村真澄
- 馬場隆弘
- 原田美保子
- 荻野 昇
- 奥田昌史
- 音川健二
- 加護谷酒美
- 甲藤さち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 小林照雄
- 小林亮子
- 諸橋健久
- 渡辺哲郎
- 佐川裕子
- 佐々木真
- 菅野明彦
- 杉浦直基
- 鈴木一輝
- 芹澤英雄
- 曾根敦子
- 田中真輔
- 千村雅信
- 十亀正司
- 中塚和良
- 中塚剛
- 中山 智
- 西佐智子
- 西脇秀治
- 野村真澄
- 馬場隆弘
- 原田美保子
- 日野 奏
- ペアンテ・
ボーマン
- 前田健一郎
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 宮本 睦
- 森みさ子
- 諸橋健久
- 渡辺哲郎

演奏会でのお願い

ご来場の皆様に演奏会を
楽しんでいただくためにご協力下さい

Please keep in mind the following rules, protocol and
etiquette so that all of our guests may enjoy today's concert.



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットに記載されて
いる座席番号にのみ有効です。座
席移動はご遠慮ください。また係の者が、チケットを
拝見・確認させていただく場合がございます。

Please be seated at the seat number designated on your
ticket.



補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウ
リングの発生を避けるためにきち
んと装着されているか今一度お確
かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please
check that your device is suitably set before the
performance begins.



開演前に携帯電話、 時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動す
る音が響きますので、電源は必ず
切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms
and all other noise-emitting electronic devices before the
performance begins.



演奏中の 飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は
思っている以上に場内に響きます
ので、演奏中の開封はご遠慮ください。のど飴は演奏
開始前までに口の中へ入れておきましょう。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール
袋等、音の出るものは音を立てな
いようにご配慮ください。演奏中
の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かば
んのチャック等をいじるのも雑音となりますのでご注
意ください。

Please be silent during the performance.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの
広い帽子や高さのある帽子は脱い
でご鑑賞ください。またリズムをとる行為も、隣の人
の迷惑になりますのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in
a way which could disturb or obstruct the view of those
seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場、曲間・楽章間のご
入場は制限させていただきます。
途中入場がある場合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a
performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量は
かなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from
any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

フライングブラボーやフライング
拍手はお控えください。

The lingering sounds and moments are part of the
performance. Please hold your applause or shouting your
appreciation until the actual end of the performance.



香水は控えめに

Refrain from wearing an excessive amount of perfume.



ホール内での録音・録画・ 写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited.

3/21 SUN.

東京オペラシティシリーズ 第113回

2020年3月21日(土) 2:00p.m. 東京オペラシティコンサートホール

Tokyo Opera City Series No.113

Sat. 21st March 2020, 2:00p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

飯森範親 [指揮]

新倉瞳 [チェロ]

グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

Norichika Iimori, Conductor

Hitomi Niikura, Cello

Gleb Nikitin, Concertmaster

ラヴェル:ラ・ヴァルス (13')

M.Ravel:La Valse (13')

ファジル・サイ:[11月の夜想曲]チェロと
管弦楽のために

(新倉瞳による委嘱作品)[初演] (19')

F.Say:"November Nocturnes"for Cello and
Orchestra commissioned

by Hitomi Niikura.[Premiere] (19')

I. 終わりのない夜の夜想曲

II. 孤独な夜想曲

III. 夜歩きの夜想曲

IV. 心象の夜想曲

V. 青い夜想曲

I. Endless Night Nocturne

II. Solitude Nocturne(Cadenza I)

III. Night Walk Nocturne

IV. Imagery Nocturne(Cadenza II)

V. Blue Nocturne

休憩(20')

Intermission(20')

ラヴェル:道化師の朝の歌 (8')

M.Ravel:Alborada del gracioso (8')

ラヴェル:スペイン狂詩曲 (16')

M.Ravel:Rapsodie espagnole (16')

I. 夜への前奏曲

II. マラゲーニャ

III. ハバネラ

IV. 祭り

I. Prélude à la nuit

II. Malagueña

III. Habanera

IV. Feria

ラヴェル:ボレロ (15')

M.Ravel: Boléro (15')

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●特別協賛/株式会社エイチ・アイ・エス

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

楽曲解説はP.06をご覧ください



3/21 SAT.



©s.yamamoto

Norichika Iimori

Conductor

飯森範親 [指揮]

Resident Conductor
正指揮者

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音するとともに、日本ツアーを成功に導いた。

国内では94年以来、東京交響楽団と密接な関係が続け、現在は正指揮者。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビュー。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任し、そのエネルギッシュな活動は高い評価を受けている。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2019年シーズンより山形交響楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者に就任。

オフィシャル・ホームページ

<http://iimori-norichika.com/>

Norichika Iimori graduated from the conducting department of Toho Gakuen School of Music. After training in Berlin and Munich, from 1994 he held successive posts including Resident Conductor of the Tokyo Symphony Orchestra. In 1996 he led the European tour of the Tokyo Symphony Orchestra and was lauded in a newspaper which said, "Iimori will surely go on to attract international attention." Iimori has been invited to conduct many world-class orchestras including the Radio Symphony Orchestra Frankfurt, Cologne Radio Symphony Orchestra, Czech Philharmonic. In 2001 he became General Managing Director of the Württemberg Philharmonic Orchestra. Currently, Norichika Iimori is Resident Conductor of the Tokyo Symphony Orchestra, General Artistic Director of the Yamagata Symphony Orchestra, Principal Conductor of the Japan Century Symphony Orchestra, and Principal Guest Conductor of the Württemberg Philharmonic Orchestra.



©Hannes Heinzer

Hitomi Niikura

Cello
新倉 瞳 [チェロ]

桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂新人演奏会に出演し御前演奏を行う。その後スイスへ渡り、バーゼル音楽院ソリストコース・教職課程の両修士課程を最高点で修了。これまでに毛利伯郎、堤剛、Thomas Demenga、Martin Zaller（バロック・チェロ）の各氏に師事。国内外での受賞歴も多数、近年では第18回ホテルオークラ音楽賞を受賞。桐朋学園大学在学中にはEMI Music JapanよりCDデビューを果たし、これまでにEMI Music Japanから3枚のアルバム、アールアンフィニ・レーベルより2枚のアルバムが発売されている。現在はCamerata Zürichのソロ首席チェリストとしてスイスを拠点に活躍する中、ソリスト、室内楽奏者として全国各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ね、司会、番組ナレーション、音楽劇、演奏家のためのドレスM Maglie le cassettoのプロデュース等、活動の幅を広げ音楽の素晴らしさを広く深く伝えようとする姿勢は多くの共感を集めている。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたGiovanni Grancino (1694年製)。

Hitomi Niikura began learning cello at the age of eight in Germany. After graduating as top of the class from Toho Gakuen College Music Department, she continued her study at Toho Gakuen Graduate School.

While at Toho Gakuen College Music Department, she made her CD debut on EMI Music Japan and has released numerous CDs so far. Currently, based in Switzerland, she is active as a soloist in Japan and overseas, and is expanding her range of activities such as mistress of ceremony, program narration, and producing dress.

Niikura excelled at the Conservatory in Basel (Switzerland), completing both her soloist and teaching degree with highest honors. So far she has refined her playing under the direction of Hakuro Mori, Tsuyoshi Tsutsumi, Thomas Demenga, and Martin Zeller (baroque cello),

She currently plays a Giovanni Battista Grancino cello built in 1694 on loan from the Munetsugu Collection.

3/21 SAT.

モーリス・ラヴェル (1875 ~ 1937)

ラ・ヴァルス

近代フランスの作曲家、モーリス・ラヴェルは舞踊好きの作曲家として知られるが、《ラ・ヴァルス》(フランス語でワルツの意)の構想を考えついたのは1906年とされる。この年の2月に友人の批評家マルノールへの手紙に、ヨハン・シュトラウスに敬意をこめたワルツの計画について書いているからである。ウィンナ・ワルツが全盛を極め、「美しき青きドナウ」など数々の名曲が誕生した19世紀半ばのウィーンに思いを馳せて書かれたこの曲は、1914年の時点で《交響詩ウィーン》と名づけられていたが、第一次世界大戦をはさんで1920年に完成された時には《ラ・ヴァルス》となり、「管弦楽による舞踊詩」の副題もつけられた。なお、ラヴェルは自作《ダフニスとクロエ》を初演したロシア・バレエ団の興行師ディアギレフからの新しい委嘱作にこの曲を提案したが、実際のバレエには不向きと却下された苦い経緯があり、曲は純粋な管弦楽曲として初演された。

ラヴェルがスコアの冒頭に「渦巻く雲の切れ間から、ワルツを踊るカップルが垣間見える。雲は少しずつ散っていく。回転する人々でいっぱいの大広間がはっきり見えてくる…」と書いたとおり、弱音器つきコントラバスのトレモロで始まる最初の響きはまだ混沌としているが、次第にワルツの3拍子のリズムが明瞭になっていく。本場のウィンナ・ワルツ同様、いくつものワルツの旋律が交替し、そのたびに楽器の音色が多彩に変化する。だが、このワルツはただ華やかなだけではない。ラヴェル自身が「幻想的で破滅的な回転」と意味深い言葉を残しているように、曲は激しい緊張をはらみながら荒れ狂うようなクライマックスへと到達し、最強音で幕を閉じる。

遠山菜穂美 TEXT by Naomi Toyama

作曲：1920年

初演：1920年12月12日、パリ。カミーユ・シュヴィヤール指揮、ラムルー管弦楽団

編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ3(イングリッシュ・ホルン持替1)、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、バス・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、ハープ2、ティンパレス、トライアングル、タンバリン、シンバル、大太鼓、カ斯塔ネット、タムタム、ベル、アンティーク・シンバル、弦5部

ファジル・サイ (1970 ～)

「11月の夜想曲」チェロと管弦楽のために (新倉瞳による委嘱作品)

鬼才ピアニスト、そしてジャズ風トルコ行進曲などの編曲者として著名なファジル・サイは、この作品で83曲目——作品番号の付けられていないものを含めると100を超える作品を手掛ける、(多忙な演奏活動を思えば) 結構な多作の作曲家だ。

彼はトルコ出身であり、自国や近隣諸国の伝統音楽を積極的に取り入れているという意味では、国民楽派や民族主義の系譜にいる作曲家であることは間違いない。だが同時にフランス近現代の作曲家モーリス・オアナ(1913～1992)とアンリ・デュティユー(1916～2013)の孫弟子でもあることを鑑みれば、サイ作品のモダンな響きや色彩的なオーケストレーションはフランス音楽に源泉があるのだろう。

この曲は、チェロを独奏とする作品としては2012年のチェロ・ソナタ《4つの街》Op.41と、2017年のチェロ協奏曲《ネバー・ギブ・アップ》Op. 73に続く3作目。(ユダヤ系の民族伝統にルーツを持つ) クレズマー音楽にも力を注ぐチェリスト新倉瞳からの委嘱によって書き下ろされた。全5楽章によって構成され、偶数楽章ではチェロのカデンツァが軸となる。

第1楽章《終わりのない夜の夜想曲》は、冒頭に低弦で繰り返される8分の13拍子のフレーズが徐々に姿を変えていく、いわば自由な変奏曲。独奏チェロは怖がるような感じではじまり、ヴァイオリン群も加わると自分の足元が揺らぐような感覚に陥ってしまう。「終わりのない夜」に向き合う独奏チェロは、それでも踊り続けていく。舞台裏から調律の狂ったピアノによるワルツが聴こえてくるところから**第2楽章《孤独な夜想曲》**となり、泣き叫ぶような独奏チェロのカデンツァに突入。途中にはアルメニアの民族楽器ドウドゥクを模したフレーズも登場し、最後には再びワルツが回想される。

独奏チェロが歩きながら思索を深めていくような**第3楽章《夜歩きの夜想曲》**を挟んで、時計のような「カチカチ」というウッドブロックの刻みが聴こえてくると**第4楽章《心象の夜想曲》**へ入り、再び独奏チェロのカデンツァに。ピブラフォンとハープによる反復フレーズで始まる**第5楽章《青い夜想曲》**は、繰り返される特徴的なリズムに乗って展開していく。終盤には第1楽章冒頭が回想され、第4楽章の要素と混じり合ってクライマックスを築き上げる。独奏チェロが最後に繰り返す旋律は、第4楽章冒頭の反復フレーズから派生したものだ。

小室 敬幸 TEXT by Takayuki Komuro

作曲:2019年

初演:2020年3月21日、東京オペラシティコンサートホール、飯森範親指揮、新倉瞳独奏、東京交響楽団

編成:独奏チェロ、ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット2、バス・トロンボーン、ティンパニ、グロックンシュピール、タンバリン、大太鼓、ピブラフォン、タムタム、コンガ、ウッドブロック、ギロ、ハープ、ピアノ、弦5部

3/21 SAT.

モーリス・ラヴェル (1875～1937)

道化師の朝の歌

ラヴェルの生まれ故郷はフランスとスペイン両国にまたがるバスク地方の一部であり、彼にとってスペインは単なる異国ではなかった。ピアノ曲集《鏡》の第4曲をラヴェル自身が管弦楽に編曲した《道化師の朝の歌》は、彼のスペイン趣味を代表する作品の一つで、タイトルもスペイン語で書かれている。道化師(スペイン語で「グラシオーソ」)は、スペイン喜劇に登場する道化役を指す。原曲のピアノ曲もスペイン風のギターやカスターネットの響きを連想させるが、管弦楽版では弦のピッチカート、弦楽セクションの細かな分割、木管のフラッター・タンギング、打楽器群の充実、ハープやトロンボーンのリッツァンド等々、ラヴェルの巧みなオーケストレーションによって音楽に原色の鮮やかさが加わった。編曲はディアギレフがロシア・バレエ団のために依頼したものであったが、バレエより先に管弦楽曲として初演されている。当時、最愛の母を失ったばかりのラヴェルは精神的に深く落ち込んでいたが、編曲は彼にとって純粋に技術的な作業でもあったため、創作復帰へのウォーミングアップになったことだろう。

曲は8分の6拍子の躍動感あふれるスペイン舞曲風の音楽で始まる。中間部では、ファゴット独奏が語り風の哀愁を帯びた主題を歌い出す。そして再び最初の舞曲が戻ってくる。

遠山菜穂美 TEXT by Naomi Toyama

作曲：1918年(管弦楽版)(原曲のピアノ曲集《鏡》第4曲としての作曲は1905年)

初演：1919年5月17日、パリ。ルネ＝バトン指揮、バドルー管弦楽団

編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、アンティーク・シンバル、トライアングル、タンブリン、カスターネット、小太鼓、シンバル、大太鼓、シロフォン、ハープ2、弦5部

モーリス・ラヴェル (1875～1937)

スペイン狂詩曲

《スペイン狂詩曲》は、ラヴェルが大編成のオーケストラのために書いた最初の作品である。ラヴェルはスペインのリズムや音階を巧みに取り入れながら、異国的かつ神秘的なスペインの雰囲気音を音で描き出した。初演の指揮者、エドワール・コロヌはフランスの現代作品を積極的に取り上げたことで知られる。新進作曲家ラヴェルの色彩豊かなオーケストレーションは、この初演で鮮烈な印象を与えた。プログラムにはパリ音楽院時代の恩師、ガブリエル・フォーレの《バラード》もあり、ラヴェルはこのコンサートで大作曲家の仲間入りを果たしている。

1.夜への前奏曲：ミステリアスな「ファ・ミ・レ・#ド」の4つの音が、弦、管、チェレスタなどによって終始繰り返される。2本のクラリネット、2本のファゴットの即興風のカデンツァも、神秘的で官能的な雰囲気醸し出す。

2.マラゲーニャ：スペイン舞曲マラゲーニャのリズムに乗って音楽がクライマックスに達すると、イングリッシュ・ホルンが哀愁の漂う旋律を奏でる。すると第1曲の4つの音が弦、チェレ

スタに現れ、再びマラゲーニャのリズムに戻って曲は終わる。

3.ハバネラ:原曲は1897年作曲の2台ピアノ作品《耳で聴く風景》の第1曲《ハバネラ》。ハバネラはキューバからスペインに伝わって流行した舞曲である。

4.祭り:オーケストラの多彩な音色がめくるめく展開をみせる、生命感あふれるフィナーレである。いったん華麗なクライマックスに到達したあと、イングリッシュ・ホルンの物憂い旋律がはさまれ、第1曲の4つの音も聞こえ、爆発的な歓喜のなかで曲は終結する。

遠山菜穂美 TEXT by Naomi Toyama

作曲:1908年

初演:1908年3月15日、パリ。エドゥアール・コロヌ指揮、コロヌ管弦楽団

編成:ピッコロ2、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット3、サリュスフォン、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、タンブリン、カ斯塔ネット、トライアングル、小太鼓、シンバル、大太鼓、タムタム、シロフォン、ハーブ2、チェレスタ、弦5部

モーリス・ラヴェル (1875 ~ 1937)

ボレロ

ラヴェルは「ボレロ」について「とても特殊な、限定された方向での実験」だと述べたが、確かにこの曲は、同じリズムと主題が、ラヴェルの言葉を借りれば「しつこさの極限まで」繰り返されるといふ、前代未聞の形式をもつ。しかも主題が反復されるたびに楽器が交替して音色が多彩な変化を遂げていくのは、楽器法の達人ラヴェルならではの着想といえる。曲はもともと女性舞踏家、イダ・ルビンシテインの舞踊のために書かれたものだが、ラヴェルがコンサートで自ら指揮するなどして純粋な管弦楽曲として人気を博し、今日に至っている。

スネア(小太鼓)が打ち続けるのは、スペイン舞曲ボレロのリズムである。「モデラート・アッサイ」の十分落ち着いたテンポが設定されているため、民族舞曲本来の軽やかな躍動感はむしろ抑えられている。このリズムは他の楽器も巻き込みながら、次第に迫力を増していく。繰り返される主題は大きく2つの部分からなり、前半は全音階的で明るく、後半はアラブ風のエキゾチックな雰囲気をもつ。この主題が、多様な楽器の音色によって塗りかえられていく。ピッコロ・ホルン・チェレスタのような意外な組み合わせや、異なる調を重ねる多調の効果などが斬新な響きを生み出す。同じリズムと主題を繰り返しながらオーケストラは次第に厚みと音量を増し、終盤で主題の形が初めて崩れ、音楽は大音響のままハ長調の主和音で終結する。

遠山菜穂美 TEXT by Naomi Toyama

作曲:1928年

初演:1928年11月22日、パリ・オペラ座。ワルテル・ストララム指揮(舞踊音楽として)

編成:フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2(オーボエ・ダモーレ持替1)、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2(小クラリネット持替1)、コントラ・クラリネット1、ファゴット2、バス・ファゴット1、ホルン4、トランペット4、ソプラニーノ・サクソフォン、テナー・サクソフォン(ソプラノ・サクソフォン持替)、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、ハーブ1、小太鼓、タムタム、シンバル、大太鼓、チェレスタ、弦5部

3/28 SAT. 29 SUN.

第678回 定期演奏会

2020年3月28日(土) 6:00p.m. サントリーホール

Subscription Concert No.678

Sat. 28th March 2020, 6:00p.m. Suntory Hall

第118回 新潟定期演奏会

2020年3月29日(日) 5:00p.m. “りゅーとぴあ”コンサートホール

Niigata Subscription Concert No.118

Sun. 29th March 2020, 5:00p.m. Ryutopia Concert Hall

鈴木優人 [指揮]

森 麻季 [ソプラノ]

クリント・ファン・デア・リンデ [アルト(カウンターテナー)]

ザッカリー・ワイルダー [エヴァンゲリスト(テノール)]

ドミニク・ヴェルナー [イエス(バス)]

東響コーラス [合唱] (3/28)

渡辺祐介 [合唱指揮] (3/28)

にいがた東響コーラス [合唱] (3/29)

青木洋也 [合唱指揮] (3/29)

横須賀芸術劇場少年少女合唱団 [児童合唱] (3/28)

洲上千里 [児童合唱指揮] (3/28)

新潟市ジュニア合唱団 [児童合唱] (3/29)

海野美栄 [児童合唱指揮] (3/29)

水谷 晃 [コンサートマスター]

Zimakuプラス[字幕操作]

鈴木 雅明[字幕翻訳]

Masato Suzuki, Conductor

Maki Mori, Soprano

Clint van der Linde, Alto(Counter-tenor)

Zachary Wilder, Evangelist

Dominik Wörner, Jesus (Bass)

Tokyo Symphony Chorus, Chorus (3/28)

Yusuke Watanabe [Chorusmaster] (3/28)

Niigata Tokyo Symphony Chorus, Chorus (3/29)

Hiroya Aoki [Chorusmaster] (3/29)

The Little Singers of Yokosuka Arts Theatre, Junior Chorus(3/28)

Chisato Fuchigami [Children Chorusmaster] (3/28)

Niigata Junior Chorus, Junior Chorus(3/29)

Mie Umino [Children Chorusmaster] (3/29)

Akira Mizutani, Concertmaster

Zimaku plus, Subtitles operator

Masaaki Suzuki, Subtitles translator

J.S.バッハ／メンデルスゾーン：

「マタイ受難曲」BWV244

(F.メンデルスゾーン・

バルトルディによる1841年上演稿・字幕付)

第一部(第1曲～第24曲) (65')

休憩(20')

第二部(第25曲～第53曲) (65')

J.S.Bach : Matthäus-Passion

BWV 244

(arrangement by F.Mendelssohn-

Bartholdy in 1841 with Japanese Subtitles)

Part 1(No.1~24) (65')

Intermission(20')

Part 2(No.25~53) (65')

- 主催／公益財団法人東京交響楽団(3/28)、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団(3/29) ●特別協賛／株式会社エイチ・アイ・エス(3/28)
- 助成／文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会(3/28)
文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会(3/29)
- 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(3/28)、公益財団法人 花王 芸術・科学財団(3/28)
公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団(3/28) ●後援／日本メンデルスゾーン協会

楽曲解説はP.15をご覧ください



公益財団法人 花王 芸術・科学財団



3/28 SAT. 29 SUN.

Masato Suzuki

Conductor 鈴木優人 [指揮]

東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。第18回藤藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。2018年バッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者。2020年4月1日から読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー就任予定。アンサンブル・ジェネシス音楽監督。指揮者としてNHK交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演。2019年ハルモニア・ムンディよりヴィオラのアントワン・タメスティとの新譜をリリース。2020年秋には同デュオの日本ツアーを予定している。バッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督、調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。



©Marco Borggreve

Masato Suzuki received a bachelor's and a master's degree from Tokyo National University for Fine Arts and Music (now Tokyo University of the Arts), and completed courses at the Royal Conservatory in The Hague. He was awarded the 18th Hideo Saito Memorial Fund Award and the 18th Hotel Okura Music Award. Since 2018, Suzuki has been Principal Conductor of Bach Collegium Japan. From April 1st, 2020, he will be a conductor and Creative Partner of Yomiuri Nippon Symphony Orchestra. He is also Music Director of Ensemble Genesis. He has conducted orchestras including NHK Symphony Orchestra, Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, and Tokyo Philharmonic Orchestra. He regularly appears as a commentator on the radio program "The Pleasure of Early Music" on NHK FM. He released a new CD with the violist Antoine Tamestit for Harmonia Mundi in 2019, and plans a Japan tour of the duo in the autumn of 2020. Suzuki is Executive Producer of the Chofu International Music Festival.

Zachary Wilder

Evangelist (Tenor) ザッカリー・ワイルダー
[エヴァンゲリスト(テノール)]

イーストマン音楽学校、モーレス音楽学校、ヒューストン大学に学ぶ。2010年リュリ《アルミード》ルノー役でジュヌヴィリエ劇場に出演しヨーロッパデビュー。13年ウィリアム・クリスティのレザール・フロリサンによる若い声楽家のためのアカデミー「声の庭」に参加。レザール・フロリサン、ボストン古楽祭、コレギウム・ヴォカール・ゲントほか世界有数のアンサンブルと共演し、活躍を続けている。18年2月鈴木優人指揮/バッハ・コレギウム・ジャパン《ヨハネ受難曲》で日本デビュー、夏の七月大歌舞伎で市川海老蔵主演の《源氏物語》に出演し、脚光を浴びた。



©Teddie Hwang

American tenor Zachary Wilder is praised for his work in repertoire from the 17th and 18th centuries and is sought after on both the concert and operatic stages worldwide. He made his European debut in 2010 as Renaud in Lully's Armide on tour with Mercury Houston at the Théâtre de Gennevilliers. The following year brought him back to France to the Festival d'Aix-en-Provence as Coridon in Handel's Acis and Galatea, which subsequently toured to La Fenice in Venice. Wilder was then chosen by William Christie in 2013 to take part in Les Arts Florissants' prestigious academy for young singers, Le Jardin des Voix. He has a long standing collaboration with the Boston Early Music Festival and now works with ensembles such as Arpeggiata, Bach Collegium Japan, Le Concert d'Astrée, Le Concert Spirituel, English Baroque Soloists, Ensemble Pygmalion, Le Poème Harmonique, San Francisco Symphony Orchestra, and Les Talens Lyriques.

Dominik Wörner.

Jesus (Bass) **ドミニク・ヴェルナー** [イエス(バス)]



©Wolfgang Schmitt

シュトゥットガルトで教会音楽を、フライブルクで音楽学とチェンバロを学ぶ。2002年ライプツィヒ国際バッハ・コンクール優勝。リート作品への興味も深く、ドイツ・ロマン派作品の演奏を中心に現代曲の初演なども行うなど、レパートリーは多岐にわたる。ヨーロッパを中心に活躍を続け、日本ではバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)との共演を中心に多くの公演に出演。19年6月の調布国際音楽祭では、鈴木優人指揮モーツァルト《後宮からの誘拐》でオスミン役を歌い、好評を博した。キルヒハイム音楽祭芸術監督。

Dominik Wörner, one of the most sought-after bass-baritones of his generation, has been hailed for his “warm and exceptionally colourful voice” and for the “tender glow and sparkling expressiveness” of his style. In 2002, Wörner won first prize in the vocal section of the International Bach Competition Leipzig. Wörner has made guest appearances around the world with oratorio, opera and Lied. His recordings (more than 80 CD’s and DVD’s) for major labels like DG and BIS have won accolades like such as the Diapason d’Or de l’Année and the German Record Critics Award. Dominik Wörner is founder and artistic director of Kircheimer Konzertwinter, a concert series in his home region Pfalz.

Maki Mori

Soprano **森麻季** [ソプラノ]



©Yuji Hori

日本を代表するオペラ歌手。東京藝術大学及び同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、ミラノとミュンヘンに留学。P. ドミンゴ世界オペラコンクールをはじめ、多数の国際コンクールに上位入賞。国内外の著名指揮者および主要オーケストラとの共演に加え、ドレスデン国立歌劇場《ばらの騎士》、トリノ王立歌劇場《ラ・ボエーム》に出演し、国際的な評価を高める。デビュー 20周年記念アルバム「至福の時～歌の翼に」をリリース（エイベックス・クラシックス）。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。
https://twitter.com/makimori_sop

Maki Mori studied at Tokyo University of the Arts and its graduate school, at the Opera Studies Center, and in Milan and Munich. She was recognized as one of the winners of Plácido Domingo’s World Opera Competition 1998, and has received many prizes for operettas and lieder.

Mori has performed in numerous productions at the Washington National Opera, including Rigoletto and Die Fledermaus, earning critical acclaim and winning the S&R Foundation’s Washington Award.

Mori achieved great successes in Der Rosenkavalier at Sächsische Staatsoper Dresden in 2007 and La Bohème at Teatro Regio di Torino in 2010, as well as in a recital in Washington, D.C. in 2012.

She performs with many renowned orchestras, winning acclaim for her beautiful voice, outstanding coloratura technique, and deep musicality. One of Japan’s leading singers, Maki Mori has achieved remarkable worldwide success.

3/28 SAT. 29 SUN.

Clint van der Linde

Alto (Counter-tenor) クリント・ファン・デア・リンデ
[アルト、偽証人I (カウンターテナー)]

少年聖歌隊学校で歌い始め、ボーイソプラノとして南アフリカの主要オーケストラと共演。イートン・カレッジ、ロンドン王立音楽大学及び同大学修士課程に学ぶ。各地のオーケストラやノリントン、シュライアーほか多くの指揮者と共演。ヘンデル等のオペラでタイトルロールを多く歌い、2005年大野和士指揮R. シュトラウス《影のない女》でモネ劇場にデビュー。09年エディンバラ国際音楽祭で鈴木雅明/バッハ・コレギウム・ジャパン (BCJ) とのヘンデル《リナルド》に出演。17年鈴木優人指揮《ポッペアの戴冠》ではオットーネ役で好評を博す。

Clint's opera and concert work has taken him to Australia, NZ, SA, US, Israel, Japan and through out Western and Central Europe. In Festivals including BBC proms (Royal Albert Hall), Mostly Mozart Festival at the Alice Tully Hall (NYC), Bach Festival Leipzig, Wellington Festival (NZ) and Edinburgh Festival. Collaborating with the AAM, The Goettingen Festspieler Orchestra, Amsterdam Baroque, the Hanover Band, the Israel Camerata, the King's Consort, the London Handel Orchestra, the OAE, the RPO the Salzburg Camerata, Stuttgart Baroque Orchestra, Melbourne Symphony Orchestra and Bach Collegium Japan. Conductors such as Masaaki Suzuki, Masato Suzuki, Ton Koopman, Stephen Layton, Sir Roger Norrington, Frieder Bernius, Stephen Cleobury, Peter Schreier, Wolfgang Katchner, George Petrou and Leonardo Alarcon.

Chorus バッハ・コレギウム・ジャパン [合唱内ソロ]

Soprano1 [女中I]
中山美紀Soprano2 [女中II]
藤崎美苗Alto1
高橋ちはるAlto2
布施奈緒子Tenor1 [偽証人II]
鏡 貴之Tenor2
沼田臣矢Bass1 [大司祭カヤハ、ピラト、祭司長II]
加藤宏隆Bass2 [ユダ、ペテロ、祭司長I]
大井哲也

バロック時代の音楽作品を中心に、オリジナル楽器で演奏することを目的に1990年、鈴木雅明によって結成されたオーケストラと合唱団。これまでに、ライブツィヒ・バッハ音楽祭、BBCプロムス、カーネギーホール、コンサートヘボウなどでの演奏を通じ、その評価を高めてきた。2013年に完結した「J.S.バッハ:教会カンタータ全曲シリーズ」をはじめ、BISからリリースのCDは90点に及び、世界的に高く評価されている。17年「W. A. モーツァルト:ミサ曲 ハ短調」が英グラモフォン賞を受賞。第45回(13年度)サントリー音楽賞を鈴木雅明と共に受賞。2020年、創立30周年を迎えた。

3/28 SAT.

Yusuke Watanabe

Chorusrmaster **渡辺祐介** [合唱指揮] (バツハ・コレギウム・ジャパン)

東京藝術大学音楽学部卒業及び同大学院修了。多田羅迪夫氏に師事。オランダのデン・ハーグ王立音楽院にて、ペーター・コーイ、マイケル・チャンス、ジル・フェルドマン、リタ・ダムスの諸氏のもとで研鑽を積む。2002年4月より鈴木雅明氏の主宰するバツハ・コレギウム・ジャパンのメンバー。現在マヨラ・カナームス東京音楽監督、東京ムジーククライス常任指揮者、東京クローバークラブ指揮者、オルケストル・アヴァン＝ギャルド音楽監督。古楽アンサンブルCantus Ebrus主宰、Coro Libero Classicoメンバー。



Chorus **東響コーラス** [合唱]

合唱副指揮: 中山美紀 / 稽古ピアニスト: 古瀬安子

1987年に東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供する」事を目的としている。公演毎に出演者決定オーディションを行い、常に演奏の質を高めている。第32回ミュージック・ベンクラブ音楽賞クラシック部門「室内楽・合唱部門」賞受賞。

●第一コーラス

Soprano	山之内文子	堀西香織	和田 敏
	石井眞穂	水越睦美	Bass
	石井 恵	柳川智子	井之上隆太
	岩元邦子	東 恭代	大坪正幸
	遠藤由理	石渡範子	兼子伸彦
	大貫由香	伊藤弥緒乃	菊池 靖
	奥泉亮子	大島裕美子	合田義弘
	島崎尚美	垣花亜妙子	竹内誠治
	武田美香	木内道子	西 宏隆
	鳥居順子	小林朋子	水野 敬
	平川暢子	小張さゆり	塚本 隆
	松本恵美	高田恵子	中原裕幸
	三浦真季	谷野仁美	古牧泰山
	水野美沙	外山恭子	水谷晴彦
	室井千晶	中島奏子	安江仁孝

●第二コーラス

Soprano	武藤聡里	藤田 栄	枇杷高志
	岡 邦子	山津裕美	Bass
	川崎仁美	真栄城美	水津陽一郎
	河野優子	水沢祐美	池上陽一郎
	河村幸子	渡邊朋子	岡野一哉
	草野真由美	伊藤晴子	木内正則
	高山美恵子	大内田由紀子	五十嵐建平
	五味川裕美	岡橋麻衣	大崎 純
	鈴木育代	尾崎いづみ	興村博康
	鈴木信恵	齋藤由紀	住吉保人
	瀬沼紀子	須田真理子	竹内邦夫
	田崎道代	関口あずみ	竹本大祐
	中村美奈子	都築靖子	津久井 豊
	仁平朋子	林由起子	佃 浩一
	藤記富子	福島里美	辻 直浩

Children Chorus **横須賀芸術劇場少年少女合唱団** [児童合唱]

劇場専属の児童合唱団として1998年に創立。年2回の定演、オーケストラとの共演やCDレコーディング、福祉施設等への訪問コンサートなど幅広く活動を行う。東響とは2014年の第617回定期「オルフ:カルミナ・ブラーナ」以来の共演となる。小学2年生～高校3年生まで約140名が在籍し、今回は内43名が出演。

洲上 千里 (横須賀芸術劇場少年少女合唱団 常任指揮者)

ピアニストとして多数の歌手との共演や合唱、リサイタル、放送等多方面で演奏活動を行う一方で、精力的に指揮活動も展開。東京ヴォーカルアンサンブルコンテストや東京都春のコーラスコンテスト等で入賞。横須賀芸術劇場少年少女合唱団創立当初からピアニスト・指導者を務め、2018年7月から常任指揮者に就任。同年10月の神奈川県フィル定期「権代敦彦:子守歌」で合唱指揮を務め好評を博す。日本合唱指揮者協会会員。

相島込佳	経田実奈	高橋慧衣	宮木まみ
池田安喜	経田和花	津村葉那	宮木れみ
石丸マリソル	香木さくら	永野りな	三代川紗嬉
伊東真鈴	久保くるみ	中村美香子	柳田 楓
海老原ゆり	齋藤梨羅	行谷あかり	横田万奈
大田愛海	佐藤優夢	野田采愛	吉住流果
沖田小春	佐野紫絵瑠	林 香々美	吉田奈子
尾仲謙礼	杉山佳織	松島帆南	
海江田英香	鈴木 創	松永海琴	
河野梨緒	園部鈴菜	三浦唯華	
菊池雄悟	高田日向	宮上瑛里子	
菊地凜香	鷹野莉々花	宮上真悠子	

3/29 SUN.

Hiroya Aoki

Chorusrmaster 青木洋也 [合唱指揮] (パッサ・コレギウム・ジャパン)



ヴァイオリンを学ぶ傍ら、ボーイ・ソプラノとして東京少年少女合唱隊時代より活躍。東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。宗教音楽を専門とし、J.S.バッハの《マタイ》《ヨハネ》の両受難曲や、多数のカンタータの独唱をつとめる。パッサ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の公演・録音に参加している。近年は合唱指揮者として高く評価されている。

Chorus にいがた東響コーラス [合唱]

稽古ピアニスト：内海信子/齋藤愛子/八子真由美

東京交響楽団新潟定期演奏会における合唱付オーケストラ曲への共演を目的に、1998年に発足。これまでに、モーツァルト《レクイエム》(戴冠ミサ)、ベートーヴェン《第九》《ミサ・ソレムニス》、マーラー《千人の交響曲》《復活》、フォーレ《レクイエム》、ブラームス《ドイツ・レクイエム》、オルフ《カルミナ・ブラーナ》、ラヴェル《ダフニスとクロエ》、ベルリオーズ《テ・デウム》、メンデルスゾーン《讃歌》ほか数多くの公演に出演している。

●第一コーラス

Soprano

田中ゆみ子
秋山敦美
飯島淳子
石堂ナオ
李 玟承
大石由利子
太田真理
荻山倫子
鎌田恵子
菊池史子
久住春枝
久保田詠子
熊谷雅子
倉林敬子
小菅 文
小林映子
佐藤富美子

仲野麻子
福井諭美
榎田千恵子
水落雅子
宮木素子
村澤康子
安田光子

Alto

青木美奈子
浅井由記
池田玲子
遠藤紀子
岡橋麻衣
小川安江
笹川規子
鈴木真里

遠山リエ子
長井りん
西島理恵
西山益代
林 幸恵
廣井千鶴
広野尚子
本間暁美
丸山愛子
若佐フジ
渡辺 恵
Tenor
大野 昇
熊澤 隆
酒井伊智郎
鈴木良明
松崎泰治

Bass

天野武博
漆川律直
金子一郎
川口 修
栗川 治
笹川 基
永井明彦
長谷川均
深沢 治
マーク・マリン
諸田哲也
山田進

●第二コーラス

Soprano

林 頼子
荒川洋子
石塚佐栄子
伊東美和子
今成三枝子
入西宏子
梅浦森子
大田和代
太田純子
片桐直子
金子英子
川崎ノリ
木戸口真弓
小島美香子
田中恵津子
永井道子
長谷川さつき

広野祥子
笹木晶子
山田正子
吉田美紀
吉村淳子
米谷由起子

Alto

岩佐由美子
若野彰子
大海里美
大橋治子
加藤菜子
木村貴子
小林由希恵
近小夜子
近藤美弥子

佐藤照子
佐藤文子
進藤よしみ
関根京子
高橋幸恵
日野久美子
廣河香納子
藤崎久美子
皆川妙子
三好素子
湯田靖子
鷲尾伴子
渡辺美和子
渡辺ルツ子
Tenor
笹川富士雄
清水 仁

津田 宏
永井昭光
村山賢一
山崎俊雄
Bass
荒井健次
佐藤真志
島倉 弘
田村和豊
津川達雄
津久井 淳
早川 徹
星 邦明
山口光雄
渡辺浩司

Children Chorus 新潟市ジュニア合唱団 [児童合唱]

稽古ピアニスト：齋藤愛子

(公財)新潟市芸術文化振興財団が主宰する少年少女合唱団で、小学3年生から高校2年生までの約130人で構成される。クラシック音楽、日本の歌、ポピュラー、合唱ミュージカルなど多彩なレパートリーで、年1回の定期演奏会、他団体との交流演奏会、各種イベント等へ出演するなど年間を通して活発に活動している。

海野 美栄 (新潟市ジュニア合唱団 指揮者)

フェリス女学院大学音楽学部を三宅賞をもって卒業。同大学院修士課程修了。二期会公演プリテン「真夏の夜の夢」でオペラデビュー後、コンサートやオペラに多数出演。現在、二期会および東京室内歌劇場各会員。明治大学リバティアカデミー講師。

浅野幸香
阿部瑚花
飯塚智香
飯原真帆
伊藤千浩
櫻木天音
遠藤 蘭
笠原麻耶

加藤太一
昆 千遥
齋藤 旭
齋藤千紘
櫻井楓夏
佐々木歩
瀬戸悠椿
鈴木彩莉

高橋沙也加
田代杏那
田中千晴
田巻和夏
中村美玖
粟田千花
野戸悠希
橋谷咲花

藤田真步
馬込胡花
三崎 彩
水沢的和
渡邊小陽

3/28 SAT. 29 SUN.

J.S.バッハ(1685~1750) / メンデルスゾーン(1809~1847)

「マタイ受難曲」BWV245 (F.メンデルスゾーン・バルトルディによる1841年上演稿)

西洋音楽史上、とてつもない作品は多々あるが、ヨハン・セバスティアン・バッハの《マタイ受難曲》はその最たるものであろう。2部68曲からなり、2群のオーケストラと合唱、数多のソリストの大編成によって、約3時間の演奏時間を要するこの大作は、十字架上の死に至るイエスの受難という重苦しい主題とあいまって、聴く者にも難行苦行の覚悟を迫る。キリスト教徒にとってそれは、続くイエスの復活と一体になって信仰の核心をなすものだ。キリスト教と無縁の者にとっても、生と死の本質に向き合う偉大な人間ドラマといえよう。その壮大なる世界観と音楽はいずれにせよ尋常でなく、ひたすら圧倒される。

1727年の聖金曜日に、ライプツィヒ聖トマス教会の晩課礼拝にて初演された《マタイ受難曲》は、バロック時代の教会音楽の常として、作曲者没後は忘れ去られた。それを約100年の眠りから蘇らせたのが、F・メンデルスゾーン・バルトルディである。9歳の時に神童ピアニストとしてデビューし、16歳で《弦楽八重奏曲》、17歳で序曲《夏の夜の夢》などの名作を生み出したロマン派の若き天才は、幼少よりバッハの作品に親しんでおり、1829年、弱冠20歳にしてベルリンのジングアカデミーを率い、《マタイ受難曲》の復活上演を成し遂げた。1835年、26歳にしてライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の指揮者に就任すると、バッハが後半生を過ごしたこの街における《マタイ受難曲》再演に碎身し、1841年の棕櫚の日曜日にバッハ没後初の上演を果たす。

この時の演奏場所は聖トマス教会だったが、バッハの時代のように受難週の礼拝の中ではなく、チャリティーコンサートとして上演が行われた。チケット収益は、こんにち聖トマス教会の西側に立つ、ライプツィヒ初のバッハ記念碑の建立資金にあてられた。合唱を担ったのは、教会付属の合唱団ではなく、市民の愛好家による成人男女であった。こうして《マタイ受難曲》は、偉大な巨匠の不朽の名作として新たな息吹を与えられたのである。

バッハの知られざる大受難曲を当時の人々に親しみやすくするために、メンデルスゾーンは上演に際して変更を加えた。1841年上演稿の特徴を簡単に要約すると、第1に、作品を約3分の2に短縮したこと。バッハの《マタイ受難曲》は、新約聖書のマタイによる福音書26~27章を中心に、自由詩とコラール(ルター派賛美歌)を織りまぜて構成されたオラトリオ風受難曲である。メンデルスゾーンは、聖書の言葉には極力手をつけず、自由詩によるレチタティーヴォとアリア、そしてコラールを半数弱、省いた。その結果、全体に合唱の役割が増し、受難の出来事がより明快に表現されることになった。

第2に、通奏低音をチェロ2台とコントラバス1台に担わせたこと。第3に、オーボエ・ダ・モーレやダ・カッチャといった19世紀に使われなくなった楽器を、クラリネットないしバセット・ホルンといったバッハの時代にはなかった新しい楽器で代用したこと。第4に、合唱曲とコラールの一部に大オルガンを導入し、音響的効果をねらったこと。これらの変更は、バロックとロマン派の響きの違いを如実に実感させるはずだ。さらに、幾分の音の変更に加えて、テンポや発想記号、強弱やアーティキュレーションなどを、メンデルスゾーンは楽譜に書き入れている。

3/28 SAT. 29 SUN.

2点、具体例を挙げよう。ペテロの否認の場面で歌われる有名なアリア〈憐れみたまえ〉(第31曲=バッハ原曲第39曲)は、本来のアルトからソプラノに移し替えられ、僅かながら旋律も変更され、天の高みに飛翔するかのよう。また、イエスの絶命後に歌われるコラール〈いつか私が世を去る時〉(第47曲=バッハ原曲第62曲)は無伴奏とされ、続くレチタティーヴォ〈見よ、神殿の垂れ幕〉(第48a曲=バッハ原曲第63a曲)に付加されたフォルテシモによる怒濤のような弦楽伴奏と鋭い対比を生んでいる。

本日、マエストロ鈴木優人氏が満を持してモダンオーケストラと共演する《マタイ受難曲》。東響と東響コーラスないしにいがた東響コーラス、横須賀芸術劇場少年少女合唱団ないし新潟市ジュニア合唱団を束ね、第一線で活躍するソリストとともに、一期一会の《マタイ受難曲》を鳴り響かせる。メンデルスゾーン上演稿を採用するのも話題だが、マエストロが目指すのは1841年の上演の忠実な再現ではなかろう。今ここに生まれる最高の演奏とするために、独自の工夫も見られる。

たとえば、アルト独唱をカウンターテナーが担うこと。メンデルスゾーンの上演では女性歌手が歌った。第1曲、第24曲=バッハ原曲第29曲のコラール斉唱に少年少女合唱団を起用する点も注目したい。19世紀半ばから、該当部分を少年合唱に歌わせる伝統が継承されてきたが、メンデルスゾーンの1841年の上演に聖トマス教会合唱団が参加したかは、実は定かでない。1829年の上演と同様に、ソリストたちがコラール斉唱を担ったとむしろ推測されている。また、バロック時代はもちろん、こんにちに至るまでヨーロッパの伝統的な教会付属合唱団は男子のみによるので、少年少女によるコラール斉唱は日本においてこそ実現するものである。

メンデルスゾーンが19世紀にバッハを生きた音楽として蘇らせたように、21世紀の若きマエストロがバッハの無限なる世界を自在に切り開いていくことに期待が高まる。

星野宏美 TEXT by Hiromi Hoshino

第1部

序:シオンの娘の対話

第1曲:合唱

十字架の死の予告

第2曲:レチタティーヴォ

第3曲:コラール

祭司長ら指導者たちの合議

第4曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

香油を注いだベタニヤの女

c:レチタティーヴォ

d:合唱

e:レチタティーヴォ

第5曲:レチタティーヴォ・アッコンパニヤート

第6曲:アリア

ユダの裏切り

第7曲:レチタティーヴォ

第8曲:アリア

過越の晚餐

第9曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

c:レチタティーヴォ

d:レチタティーヴォ

e:合唱

第10曲:コラール

第11曲:レチタティーヴォ

オリブ山にて

第12曲:レチタティーヴォ

第13曲:コラール

第14曲:レチタティーヴォ

ゲッセマネでの苦悶

第15曲:レチタティーヴォ

第16曲:レチタティーヴォ・アッコンパニヤート

第17曲:アリア

第18曲:レチタティーヴォ

第19曲:レチタティーヴォ

第20曲:コラール

捕縛

第21曲:レチタティーヴォ

第22曲a:アリア

b:合唱

第23曲:レチタティーヴォ

第24曲:コラール

第2部

人気なき園に花婿を探す
シオンの娘とエルサレムの娘
(信徒)たちの同情

第25曲:アリア

大司祭の審問

第26曲:レチタティーヴォ

第27曲:レチタティーヴォ

第28曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

c:レチタティーヴォ

d:合唱

第29曲:コラール

ペテロの否認と悔恨

第30曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

c:レチタティーヴォ

第31曲:アリア

ユダの後悔と末路

第32曲:レチタティーヴォ

第33曲:合唱

第34曲:レチタティーヴォ

審問と磔刑判決

第35曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

第36曲:レチタティーヴォ

第37曲:レチタティーヴォ・
アッコムパニヤート

第38曲:レチタティーヴォ

第39曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

c:レチタティーヴォ

d:合唱

鞭打ち

e:レチタティーヴォ

第40曲:レチタティーヴォ・
アッコムパニヤート

第41曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

c:レチタティーヴォ

第42曲:コラール

十字架の道

第43曲:レチタティーヴォ

十字架の上のイエス

第44曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

c:レチタティーヴォ

d:合唱

e:レチタティーヴォ

第45曲:レチタティーヴォ・
アッコムパニヤート

イエスの死

第46曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

c:レチタティーヴォ

d:合唱

e:レチタティーヴォ

第47曲:コラール

第48曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

十字架からの降下と埋葬

c:レチタティーヴォ

第49曲:レチタティーヴォ・
アッコムパニヤート

第50曲:アリア

第51曲a:レチタティーヴォ

b:合唱

c:レチタティーヴォ

哀悼と告別

第52曲:レチタティーヴォ・
アッコムパニヤート

第53曲:合唱

作曲:1727年、1841年(メンデルスゾーン上演稿)

初演:バッハによる原曲:1727年4月11日(聖金曜日*)、ライブツィヒ聖トマス教会の晩課礼拝にて

メンデルスゾーン上演稿:1841年4月4日(棕櫚の日曜日**)、ライブツィヒ聖トマス教会でのチャリティーコンサートにて

*教会暦で、イエスの十字架刑死を記念する日。復活祭前の金曜日。

**教会暦で、イエスのエルサレム入城を記念する日。復活祭の1週間前の日曜日。この日から受難週が始まる。受難週と復活祭はいわゆる移動祝日にあたる。今年は4月5日に受難週が始まり、4月12日に復活祭を迎える。

編成:ソプラノ独唱、アルト独唱、テノール独唱、バス独唱

第1オーケストラ[フルート2、オーボエ2、クラリネット2(バセット・ホルン持替2)、オルガン、弦5部]、第2オーケストラ[フルート2、オーボエ2、ファゴット1、弦5部]、混声合唱、児童合唱

2020年シーズンラインナップ記者会見

ジョナサン・ノットと東京交響楽団の

SEASON 7

ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》終演の翌々日に開催された、東京交響楽団2020年シーズンラインナップ記者会見。音楽監督就任7年目を迎える2020年シーズンのプログラムについて、ノット監督自らが語った。

まずプログラムについてお話しする前にひとつお伝えしたいことがあります。それは、地球上の人間は皆が皆、音楽に感動を覚えるものだという事です。そのような力が音楽にはあるのです。それは人によってどの音楽家か、どの曲かというのは異なるかもしれませんが。しかしながら音楽体験は絶対に人を変えます。音楽体験、本当に素晴らしいものを分かち合い、その地域でそれぞれがそれを互いに一つのものとして感じあった人というのは、社会の中における行動が必ず変化するものです。そしてそれは、決して悪い方向ではなく、良い方向へと変わるものなのです。さらにそれを三歩も前に進めるのであれば、素晴らしい音楽体験は、この気候変動さえも変え得るほどの、アマゾンの木々の伐採を止める一助にもなり得るような、そんな重要な経験となるのです。

14年間のうちの半分である7シーズン目までを振り返った時に、歴史を着実に進んできたと思えます。そしてまた、進むべき道もこの先にあります。過去の7年を振り返り、そしてこれから先の7年を見据えて、2020年シーズンのプ

ログラムづくりを行いました。チクルスとしてはブルックナー、ベートーヴェンが続いている中で、この他にどういふものがあるかというところを考えたときに、チャイコフスキーの《悲愴》(7月オペラシティ)を取り上げることに致しました。実はここ数年、コンサート後にお客様がサインを求めてくださることが多く、皆さんこんなにも私を求めてくださるのに、私は皆さんのことを知らないなと思ったのです。そこで皆さんにお礼の気持ちをと開いた小さなパーティーで、「皆さんどんなものが好きですか」「どんなものをお聞きになりたいですか」と伺いました。そこで、「ロシア音楽を是非!」と話が上がったのです。チャイコフスキーの交響曲第4番、第5番は取り組んだことがありますが、実は第6番《悲愴》は一度も指揮したことがなかったので、今年取り上げることにしました。そして、「日本人作曲家の作品も是非!」とのことで、アイデアが山のように出た中で、矢代秋雄さんのピアノ協奏曲をプログラムに組み込みました。

そして、この矢代秋雄さんの曲とカップリングするのが、ブルックナーの交響曲第6番です



©T.Tairadate

(11月定期)。この曲はオーケストラにとって一つの大きな「輪」であると考えています。半分の輪を構成するのがオーケストラと指揮者、残りの半分の輪を構成するのが聴衆の皆様。皆さんと、オーケストラのパフォーマンスが一つとなって大きな輪となります。

4月に行われる定期は、UK IN JAPANのスペシャル・イギリスプログラム。私は東響コーラスを大変信頼しているので、ぜひやりたいと選曲した英作曲家ウォルトンの《ベルシャザールの饗宴》を中心に、イギリス在住の作曲家藤倉大さんの作品と、同じく英作曲家エルガーの作品を組み合わせました。

7月にはマーラー《交響曲第5番》とラッヘンマンの作品を並べた素晴らしいコンサートを控えています。思いがけずオリンピックの開会式と時期が被りましたが、その入場券をお買い求めになれなかった方々もガッカリせず(笑)、是非皆様こちらへいらしていただければと思います。私は(会見の)数週間前にもこのラッヘンマンを指揮したのですが、30年前にこの作品が発表された時には、非常にスキャンダラスな作品として聴衆が総立ちでブーイングをし、聴くも

悍ましいと評価された作曲家なのです。ですが、今ではこれほど素敵な音楽はない、非常に繊細で独特でデリケートな世界を、作品に内包しているのです。シューベルト、シューマン、ブラームスと肩を並べても何の遜色もない、素晴らしい作曲家だと思います。

そして10月に2週にわたってお送りする、《トリスタンとイゾルデ》。《グレの歌》の経験を通して東響は、“大きな音”ではなく、歌手を大きく支えることのできる“深みのある音”で歌手と見事に対峙できるということを確認しました。そういう意味でも《グレの歌》はとても良いトリアルになりましたし、それも踏まえて《トリスタンとイゾルデ》を皆さんにお楽しみいただきたいと思っています。

私は東京交響楽団をとっても大切に思い、日本の聴衆の方々が増しに一体となりその音楽体験をする、互いに心が触れ合い振動し合うような、そんな時を過ごすことが大切だと思っています。一つ一つのコンサートでは皆様に変化をもたらすような、潜在力を持ったオーケストラの音楽体験をしていただくことができると思います。

(音楽監督ジョナサン・ノット | 2020年シーズンラインナップ記者会見から)

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N. Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
ハウステンボス株式会社
株式会社フェイス

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社インサイド・アウト
花王株式会社
環境ステーション株式会社
学校法人創志学園
株式会社ティアー ワイ リミテッド
株式会社日本財託
ピーアークホールディングス株式会社
株式会社ベッパーフードサービス

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
イーサポートリンク株式会社
サントリーホールディングス株式会社
新菱冷熱工業株式会社
セントラル短資FX株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
玉の肌石鯨株式会社
中外製薬株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーシンパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
株式会社日本ポステム
株式会社パソナ
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
株式会社ぶらう
丸紅新電力株式会社

ゴールド会員

ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
横浜自動車部品株式会社

シルバー会員

株式会社エスティア
株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
学校法人順心広尾学園
松竹株式会社
有限会社青史堂印刷
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
日本宅配システム株式会社
株式会社野毛印刷社
久光製薬株式会社
本田技研工業株式会社
司法書士法人村田事務所
株式会社LALLヒューマンホールディングス

ブロンズ会員

NPO法人かわさき市民アカデミー
GVIDO MUSIC 株式会社
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
ニッシンエレクトロ株式会社
富士ゼロックス神奈川株式会社
前山歯科医院
株式会社ヤクワ
株式会社ワイ・ティ・ビィ

賛助企業

アサヒビール株式会社
東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名5社



東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(3月4日現在。五十音順)。

個人会員

サークル50

磯村文靖	清水尚彦
伊藤晴美	長瀬雅則
伊藤美樹	水野秀一
鷺海量明	山本誠一郎
木暮紀子	横川 端
澤田秀雄	依田 巽
	匿名 3 名

サークル25

沖田陽子	金山尚弘
大木志乃生	山口 学
	匿名 1 名

サークル10

荒木陽子	竹田 忍
猪田隆文	千葉 清
伊藤 弘	戸川二郎
井上孝昭	中澤守正
内山誠彦	成瀬倉祥
梅沢麻衣	野口恵三
遠藤秀和	浜 信昭
大城明幹	濱名 剛
太田純子	早川正希
岡 邦子	原田美保子
岡野一哉	アーネスト
梶井龍太郎	M.比嘉
片山泰輔	堀川将史
金子 元	増岡聡一郎
菊池光剛	峯岸恭博
小林 光	村本京子
古丸 健	村本信幸
近藤和喜夫	山口重雄
斉藤脩司	山口知子
佐々木真	山田長満
佐藤大助	山本 明
塩沢誠司	吉川麗月
清水幹雄	吉田治喜
高津麻子	吉村美恵子
高畠琢己	米岡修一
高家正行	渡邊憲一
田口之博	匿名 14 名

フレンズ5

石澤卓志	寺澤佳代
大野紀子	徳坂照雄
後藤 実	古庄忠雄
坂本 潔	山口 聡
高澤美貴子	匿名 3 名
高野幸一	

フレンズ3

東 恭代	関根 3 善
天野 巨	田中健一
井上 聡	都築 豊
内海重男	仲川昌宏
大川朋彦	長瀬利明
大崎 純	中村幸雄
大塚具幸	西岡浩史
尾島夕里	西村建哉
*皆瀬 修	西依智子
何 祖全	野口敏嗣
川村純一郎	野田尚武
木質賢市	*野田佳克
久保田一穂	福田昭夫
郡 克彦	堀 哲也
古杉 絢	*森本 篤
小林公子	森山雅一郎
小山忠司	安江美穂
酒井康夫	山内貴弘
佐久間智子	吉田 正
佐藤健司	Y.T.
清水良枝	匿名 8 名
炭電 剛	

フレンズ1

■あ	井倉 叡
秋山真一郎	池田紀代美
明田重樹	石原祥子
浅川有基	磯村幸一郎
浅里文男	井手泰宏
安藤志津夫	伊藤晴子
安藤修子	*伊藤寛明
安藤智昭	伊藤宗功
安仲充子	伊藤力雄
五十嵐秀一	井上康子

今井由紀夫

岩澤淳子
岩瀬順子
岩瀬正明
岩田 新
岩田由紀
上田 滋
上田順子
上田洋子
上野哲司
潮田伊織
内川真名子
内海ゆり
宇野正芳
梅里拓志
梅本千枝子
江川信彦
大嶋孝義
大島裕美子
大島康彦
大瀧憲一
太田健司
大塚賢久
大貫浩史
大貫由香
大橋昌資
大畑喜信
大森幸吉
岡田明寛
*岡庭明子
岡野明德
岡部守男
小川幾子
小川 健

奥泉亮子
奥瀬 篤
奥田由美子
奥村和子
小倉利枝
小澤信正
小名雅恵
小野沢直人
小野塚純二

■か

海藤慶子
柏木正弘
片山千栄
加藤啓子
加藤由美子
兼子伸彦
狩野裕基
川口善行
川中孝文
河原 徹
河村陽子
菊池万美子
北野雅子
北村 真
城処 隆
木内正則
木内道子
木下泰子
木村好一
木村民子
木村富士子
木村美智子
木村幸男
栗原 潔
玄間美幸
小嶋麻理
小杉順也
小林恭二
小林宏州
小林 浩
小林 洋
小山幸子
■さ
齊木一宏
齊藤稔晃
齊藤ひろ子
齋藤将隆
榭 英純
坂元靖子
坂本タカ子
前刀禎明
桜井祐市
佐々木直人

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名 (敬称略)

笹原 勉
佐瀬信行
佐藤幸子
佐藤 孜
佐藤敏明
佐藤紀子
里見正憲
設楽 猛
芝崎有男
柴崎晴雄
柴橋俊也
嶋谷宏明
清水敬一
生野隆久
白石 智
白石 大
杉田忠史
*杉本昌彦
杉山重明
杉山慎二
鈴木いく子
鈴木栄子
鈴木啓介
鈴木孝治
清木 達
清木穂名美
關 俊朗
関 洋
■た
高石祐次
高木敏和
高田恵子
高野洋二
高橋ユリコ
高松則雄
田川智也
竹内聖子
竹前英子
田代雅春
田中治郎
谷川 啓
玉井正浩
千田晴久
常岡千城

寺田治男
鳥居順子
鳥居夕紀夫
■な
中塚博則
*中村紀美子
西川 晶
西澤嘉康
西中川淑子
西村淳夫
西谷千賀子
西山英昭
根本直之
野村勝美
■は
箱崎芳雄
橋本憲人
長谷川健一
長谷川博
波多ミサエ
八田庄一
馬場宏一
濱尾 仁
早川克巳
林田和代
林 直之
林 博子
*早見幸子
原ひとみ
樋口順子
樋口 實
平岡 要
平塚吉之
廣瀬泰文
深川剛生
深沢茂実
藤田 栄
古市雄二
星 直樹
本多崇志
■ま
前田 泉
真木太郎
増田 敬

松井孝治
松岡公代
松尾淳一
松川好孝
松下泰之
松原寛道
松村悠紀子
松本 繁
*圓尾雅則
水谷晴彦
三田純子
三橋祐太
宮坂健司
宮寺 昇
村瀬正子
村田拓郎
森 里美
森下真弓
森島政和
毛呂信昭
■や
安田茂生
柳本友幸
山縣裕兒
山上典彦
山岸勇一郎
山口政継
山田家伸
山田修造
山田昌克
山田義則
山出 宏
山本直樹
山本 博
鎗水みお
吉井久美子
吉田 淳
米谷克幸
■わ
渡邊昭彦

■C.S.
N.S.
匿名64名
■栄誉会員
ヨコ・ナガエ・
チェスキーナ

遺贈ご寄付 (敬称略)

竹内容子
齊藤公治メモリアル基金
岡橋純男
岡橋 孜

法人定期会員

【定期演奏会】
東京コンテナ工業株式会社



特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までにご欠席の連絡をくださった方には、入場券代はお返し致しませんが、特別後援会員として1年間定期公演のプログラムにお名前を掲載させていただき、当団主催公演の入場券を5%引き(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱いのみ)にてお求めいただけます。お求めの際に特別後援会員であることをお申し出ください。なお、対象となる演奏会は当団が指定する主催公演です。

池田信臣	関根三善
池田 均	中島美奈子
石川明子	東由美子
石川 章	藤沼 純
内田恵美子	松本敬朗
大橋美可恵	森山雅一郎
小川 健	匿名7名
佐藤悦子	(敬称略)
篠原信夫	

ご連絡は
TOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511へ
お電話でお願いいたします。



©N.Ikegami

<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1 年額 1万円 ~29,999円	フレンズ3 年額 3万円 ~49,999円	フレンズ5 年額 5万円 ~99,999円	サークル10 年額 10万円 ~249,999円	サークル25 年額 25万円 ~499,999円	サークル50 年額 50万円 ~
---	---	---	--	--	-----------------------------------

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ 年額 10万円 ~	シルバー 年額 30万円 ~	ゴールド 年額 50万円 ~	ダイヤモンド 年額 100万円 ~	プラチナ 年額 1000万円 ~
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------

会員特典	詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい	法人会員				
		サークル 会員	フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1	
主催公演へご案内		○	○			
出演者・楽員との懇親会		○	○			
オリジナルイベント		○	○	○	○	
ゲネプロ見学会(年3回以上)		○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)		○	○	○	○	○
ご芳名掲載		○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1		○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2		○	○	○	○	○

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。
 ◎個人の場合：「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分*1について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合：「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。*

*但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけるようになりました。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians

楽団員紹介

丁寧に、丹念に音楽を紡ぐクラリネッティスト

近藤 千花子

Chikako Kondo

〔クラリネット奏者〕2006年 3月入団

趣味: 読書、コーヒー(豆を選んで挽くところから!)、"厳選"、掃除



©N.Ikegami

“厳選”は職業柄？

少し前に友人から「趣味が“厳選”だね!」と言われました。確かに、食べ物や衣服、日用品はじっくり吟味してから買うタイプです。加湿器ひとつ買うのにも1年以上悩んだり... (これはもっと早く買えばよかったのですが笑)。“厳選”することや、生活の中でルーティーンを作ることが好きなのは、リード楽器奏者の特性なのかもしれません。私の場合は、一か月に何枚新しいリードを調整するが決めていて、その中で「最初から酷使して育てるリード」「少しずつ吹き慣らしながら大切に育てるリード」など、リードをいくつかの優劣のグループに分けて調整しています。

定期演奏会も私にとっては大切なルーティーンの一つ。日々の演奏活動の中に、定期的と同じ仲間と、リハーサルから本番まで作りあげていく過程を含めて、お客様に聴いて頂く、ということはとても幸せなことです。東響の定期演奏会はどこも素晴らしいホールで演奏できますし、演奏家としての恵まれた環境に感謝しています。オーケストラ奏者は、演奏中の空気の微妙な変化を察知することに長けていると思います。良い音楽が生まれたとき、また、何か想定外なことが起こった時、話さずともお互いに空気を瞬時に感じあえる、これはオーケストラの醍醐味の一つだと思います。

イギリスへの留学

入団して5年が経ち東響にも慣れたころ、演奏家としての自分を見つめなおすため、アフィニス文化財団海外研修員として1年間の留学を決め

ました。もともと親戚がロンドンに住んでおりホームステイの経験があったこと、そしてロンドン交響楽団の憧れから、英国王立音楽院に留学しました。3歳年上のロンドン響首席の先生は、奏者としてだけではなく、お人柄も本当に素晴らしく、ロンドンでの生活は毎日が学びと感謝の連続。留学生活の終盤には、ロンドン響にエキストラとして参加させていただくこともでき、かけがえのない経験となりました。

留学生活の中で思いがけず感じたのは、「はやく日本に戻りたい!」という気持ち。ロンドンでの生活はとても快適だったのですが、早く自分のホーム(=東響)で、留学で学んだことを試したい、仲間たちと一緒に演奏したいという気持ちが、日に日に強くなったのです。留学前はこんな風を感じたことはありませんでした。今は大小含めてどんな演奏会でも、心を込めて演奏することを常に思っています。ノット氏が監督になってからは、リハーサルなどでイギリス英語を聞くと留学時のことを思い出しくなります!



留学先のロンドンで。

インタビュー:事務局

ステージは新たな 創造の場常に新鮮



©N.Ikegami

ジョン・ノットは、フランスのアンサンブル・アンテルコンタンポラン音楽監督やドイツのバンベルク交響楽団首席指揮者を歴任し、2014年に東京交響楽団（東響）の音楽監督に就任した。17年からはスイス・ロマンダ管弦楽団の音楽監督を兼務している。現在、非常に注目されている世界的な指揮者の一人である。15年に、26年までの契約延長を発表するなど、ノットと東響の関係はきわめて良好であり、両者は長期的な視野での活動を行っている（たとえば、モーツァルトの「ゴジ・ファン・トゥッテ」、ドヴォルザークの「フィガロの結婚」のオペラ三部作を3年かけて演奏会形式で上演した）。ノットは、東響の音楽監督就任以来、マーラーの交響曲を毎シーズン取り上げているが、今年は第7番に取り組んだ。

2 主題で旋律よりも伴奏の色彩を際立たせ、この作品とベルクとの近さを感じさせる。「夜の歌」と名付けられている第2楽章と第4楽章では、ダイナミックスが大きく、賑やかなくらしいの夜が描かれる。第3楽章スケルツォは、速くて激しい演奏。狂気さを感じる。第5楽章も、高速で、どんどんギア・チェンジが行われていく。ノットは、合奏の精度のリスクを承知の上で（実際、演奏にキズや多少の乱れもみられたが）、オーケストラをおったりしながら、いつも以上に攻めていく。作品の本質を示すために独自の解釈も示す。そしてノットの即興的な指揮棒に必死に食らいついていく東響。そのスリリングさこそがこのコンビの醍醐味といえるだろう。

11月16日の第675回定期演奏会（東京・サントリーホール）は、ベルクの「管弦楽のための3つの小品」とマーラーの交響曲第7番「夜の歌」というプログラム。ベルクは、様々な色彩が鮮やかに混ざり合う演奏。ノットは、明晰には描きすぎず、19世紀末の香りを、こし、マーラーとのつながりを想起させる。各ソロ楽器をはじめ、東響の合奏の優秀さが示された。

マーラーの交響曲第7番は、第1楽章から、起伏が大きく、美しい演奏。ノットは、第

感慨を覚える。（音楽評論家 山田治生）

NEWS & TOPICS

特別顧問就任

2020年3月1日付

草壁 悟朗 Goro Kusakabe

川崎商工会議所 会頭 川崎信用金庫 会長

1953年生まれ。大学を卒業後、川崎信用金庫に入庫。経理部長、専務理事等を経て、平成23年に理事長に就任し、現在は会長。また、平成31年3月には川崎商工会議所 副会頭に就任し、同年11月には会頭に就任。



楽団人事

2020年3月1日付

大和田浩明 Hiroaki Owada

[パーソンネル・マネージャー]

1986年よりホルン奏者として活躍後、2019年1月よりライブラリアンとして勤務致しました。2020年3月1日よりパーソンネル・マネージャーに就任。



©N.Ikegami

新入団

2020年3月1日付

福崎 茉莉子

Mariko Fukuzaki [チェロ奏者]

加藤 智浩

Tomohiro Kato [ホルン奏者]

「2019年のベスト・コンサート21」 東京交響楽団が3演目で選出!!

クラシック音楽雑誌「音楽の友(2020年2月号)」掲載の特集「2019年のベスト・コンサート21」にて、音楽監督ジョナサン・ノット指揮2019年10月ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》と2018年12月《フィガロの結婚》、東京交響楽団が管弦楽を務めた2019年2月東京二期会オペラ劇場《金閣寺》が選出されました。「2019年のベスト・コンサート21」に3公演が選出されたのは当団のみの快挙です。

また、その他にも多くの公演が「41人の音楽評論家・記者が選ぶコンサート・ベストテン2019」に選出されています。ぜひご覧ください。



音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団と東響コーラスが 第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞W受賞!

この度、第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「オペラ・オーケストラ部門」を音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団が、「室内楽・合唱部門」を東響コーラスが受賞しました。当団は2008年同音楽賞クラシック部門コンサート・パフォーマンス賞(日本人アーティスト)、2009年クラシック部門録音・録画作品賞(日本人アーティスト)、2018年優秀録音作品賞(オーディオ部門)に続く4度目の受賞、東響コーラスはアマチュア団体として初の受賞となります。

オーケストラのバックステージを覗き見 “a DAY at Tokyo Symphony Orchestra” 好評公開中!

題して“ある日の東京交響楽団”。楽員にスポットをあてオーケストラのバックステージを覗くミニムービーを、制作しました。1月下旬に公開した第1弾は、「まるで映画みたい!」と多くの反響をいただきました。動画は公式Twitter・公式facebookにて、ハッシュタグ[#aDAYatTSO]をつけて掲載。また、本編に収録されなかった番外編を、公式Instagramに限定公開しています。是非併せてご覧ください。



リハーサルの1時間前。すでに舞台上は音で溢れています。

約50年前の記録録音を初公開 1970年代の朝比奈隆 ブルックナーを限定配信

音楽・動画配信サービス「TSO MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION」にて、朝比奈隆指揮ブルックナー:《交響曲第7番》を配信中です。「ブルックナーの巨匠」と呼ばれ、日本のクラシック音楽界を牽引した指揮者 朝比奈隆。

1973年に東京文化会館にて行われた第204回定期演奏会の録音を、実に50年近くの時を経て初公開です。保管されていたオープンリール(!)には、「貴重録音」の記載がありました。



NEXT PROGRAM

いよいよ新シーズンスタート! 音楽監督ジョナサン・ノット Season 7

4/18 東京オペラシティシリーズ第114回

(土) 2:00p.m. 東京オペラシティコンサートホール

指揮: ジョナサン・ノット

ピアノ: 辻 彩奈

ストラヴィンスキー: バレエ音楽「カルタ遊び」

酒井健治: ヴァイオリン協奏曲「G線上で」

ベートーヴェン: 交響曲 第2番

¥8,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000



4/25 第679回 定期演奏会

(土) 6:00p.m. サントリーホール

日英交流年「UK in JAPAN 2019-20」
スペシャル・イギリスプログラム

4/26 川崎定期演奏会 第75回

(日) 2:00p.m. ミューザ川崎シンフォニーホール

UK IN JAPAN
2019-20

GREAT for PARTNERSHIP

指揮: ジョナサン・ノット バスバリトン: ニール・デイヴィス

合唱: 東響コーラス 合唱指揮: 富平恭平

藤倉 大: 海

エルガー: エニグマ変奏曲

ウォルトン: オラトリオ「ベルシャザールの饗宴」

[4/25] ¥10,000 A¥8,000 B¥6,000 C¥4,000

[4/26] ¥10,000 A¥8,000 B¥5,000 C¥4,000



藤倉大コメント

「長い間東京交響楽団の指揮者を続けることになったよ!」と友人のジョナサン(ノット)から嬉しいようなメールをもらったのは、もう何年前でしょうか。この度、僕のオペラの素材から再構築してできたリリカルなオペ作品「Umi」が、この度東京交響楽団で演奏されることをとても嬉しく思います。東京でどう響くか、楽しみです!

5/31 第119回 新潟定期演奏会

(日) 5:00p.m. “リゅーとびあ”コンサートホール

次回の新潟定期演奏会は…

※5/30(土)第680回定期演奏会6:00p.m. サントリーホールでも同プログラムにて開催

指揮: 下野竜也 ヴァイオリン: 南紫音

ポツケリーニ(ペリオ編曲): マドリードの夜の帰宮ラッパ

ベルク: ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」

ベートーヴェン: 「フィデリオ」序曲

ベートーヴェン: 「レオノーレ」序曲

第1番、第2番、第3番

¥7,500 A¥6,000 B¥4,500 C¥3,000 D¥2,000



リゅーとびあチケット専用ダイヤル TEL 025-224-5521

東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ
<提携>公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団



公式サイト

http://tokyosymphony.jp



1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。2020年3月第32回ミュージック・ベンクラブ音楽賞「オペラ・オーケストラ部門」「室内楽・合唱部門(東響コーラス)」をW受賞した。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。音楽監督と共に3年がかりで取り組んだ「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」や、ミュージア川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演「グレの歌」はいずれも高い評価を得た。2019年にはジョナサン・ノット指揮「マラー:交響曲第10番&ブルックナー:交響曲第9番」が第31回「ミュージック・ベンクラブ音楽賞優秀録音作品賞」を受賞。音楽誌「音楽の友」の「41人の音楽評論家・記者」が選ぶ「コンサート・ベストテン2019」にて、最多3公演が選出され注目を集めた。

ITへの取り組みも積極的で、「iVRオーケストラ」や「LINEチケット」の導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス「TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION」をスタートし注目を集めた。また、録音や放送においても活発で、テレビ朝日「題名のない音楽会」レギュラー出演や、TOKYO SYMPHONYレーベル、N&Fレーベル、キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等からCDを多数リリースしている。

舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュージア川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においてもウィーン楽友協会での公演や日中平和友好条約締結40周年記念公演等58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げた。

また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「10歳からのオーケストラ」「子ども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的に開催。その募金は(公財)国際開発救援財団を通じて被災地に役立てられている。

Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. In March 2020, Mo. Nott and the Orchestra won the Music Pen Club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra's amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO's home and Mozart's Da Ponte Operas in concert style. In 2018, TSO launched "TSO Music & Video Subscription", first-ever digital project in Japanese Orchestras, which provides live-concert video and music as well as CD recording.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. In 2016, the Tokyo Symphony Orchestra celebrated its 70th anniversary and took a European tour including the concert at Musikverein Großer Saal in Vienna with Mo. Nott. In August 2018, in commemoration of the 40th anniversary of the Conclusion of the Treaty of Peace and Friendship between Japan and China, the Orchestra had concerts in Shanghai and Hangzhou and received high praise. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera. Through these activities, the orchestra has received most of Japan's major music awards such as the Minister of Education Award, the Grand Prix of Kyoto Music Award, Mainichi Art Award, Agency for Cultural Affairs Art Award, Suntory Music Award and Kawasaki City Culture Award.

Since becoming the resident orchestra of the City of Kawasaki in 2004, a semi-resident orchestra agreement with the City of Niigata in 1999, and a partnership agreement with Hachioji College Community & Culture Fureai Foundation in 2013, the orchestra has been enthusiastic for school concerts and community concerts. The Tokyo Symphony Orchestra has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.



マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



音楽・動画配信サイト
「TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION」

1か月
500円
(税別)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

Tokyo Symphony Orchestra Monthly Concert Broadcast

Symphony

Symphony 2019年(令和2年)3月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764

<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュージア川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト